

科目名		授業形態	担当教員名	
内科学 I		講義	谷山 紘太郎	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (2 単位)		30 回	3 年次	通年
授業の目的・概要				
将来医療業務の一翼を担うものとして、病因・病態に関する基本的知識を有することは必須である。本科目では、器官別に正常の構造・機能に関する知識を整理するとともに、異常生体に至る病因およびその病態についての基本的知識を系統的、網羅的に提供する。免疫系疾患については、独立した授業科目（臨床免疫学）で履修してもらう。				
授業の到達目標				
器官ごとの正常の構造や機能、および器官に関連する疾患の症状、病態生理を理解し、記憶する。				
授業計画				
回	内容		回	内容
1	総論・症候学		16	腎・泌尿器系疾患(1)腎・泌尿器に関する基本事項
2	人体の構成及び細胞に関する基本事項		17	腎・泌尿器系疾患(2)腎疾患
3	腫瘍(加齢による生体変化を含む)		18	腎・泌尿器系疾患(3)泌尿器疾患
4	骨格系・筋系疾患		19	血液疾患(1)血液・体液に関する基本事項
5	神経系に関する基本事項		20	血液疾患(2)赤血球・白血球・血小板関連の疾患
6	神経疾患概論		21	血液疾患(3)血液凝固関連の疾患
7	感覚器系の内科的疾患		22	消化器系疾患(1)消化器に関する基本事項
8	循環器系疾患(1) 心臓に関する基本事項		23	消化器系疾患(2)消化管疾患
9	循環器系疾患(2) 血管に関する基本事項		24	消化器系疾患(3)肝・胆・膵疾患
10	循環器系疾患(3) 心臓疾患		25	内分泌系疾患(1)
11	循環器系疾患(4) 血管系疾患		26	内分泌系疾患(2)
12	呼吸器系疾患(1) 呼吸器系の基本事項及び血液ガスとの関連		27	代謝異常疾患(1)(体温・ビタミン・酵素を含む)
13	呼吸器系疾患(2) 呼吸器系の基本事項、特に生理機能		28	代謝異常疾患(2)
14	呼吸器系疾患(3) 気道の疾患		29	感染症(消毒を含む)
15	呼吸器系疾患(4) 肺疾患		30	免疫学の臨床上の重要性
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	臨床工学技士国家試験の過去10年間の問題を参考にして出題する。なお、過去問の資料については、解答及び解説付きのプリントを前もって配布する。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	講義資料プリント冊子及び過去10年間国家試験問題解説プリント配布			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
コメディカルのための専門基礎分野テキストー内科学	北村 論 他編		中外医学社	
自由記載				
備考				